

# WEST LIFE

## 校長の目

令和7年4月8日(火)

50<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY



本日、令和7年度がスタートしました。正門脇の満開のソメイヨシノが生徒たちを出迎えました。昇降口は8時に開錠しますが、みんないつもより早く登校してきました。自分がどのクラスになるのか、学級発表を待ちきれない様子でした。定刻に学級発表が掲示されると、黒山の人だかり。新しい出会いに、みんな笑顔がはじけます。

朝学活のあとは、2・3年生が始業式、続いて入学式が行われました。新1年生もしっかりとした態度で式に臨むことができました。多くの保護者の皆様にもご参列いただき、大変ありがとうございました。



### 令和7年度ふじみ野市立大井西中学校 入学式 校長式辞

新入生を待っていたかのように本校の桜が満開となりました。この良き日に、ご来賓の皆様のご臨席のもと、第五十回入学式を挙行できますことを深く感謝申し上げます。

百二十九名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。夢と希望にあふれ、胸を張って目を輝かせている皆さんは、とてもまぶしく見えます。一人一人が、これから始まる中学校生活に様々な想いを馳せていることでしょう。新たな友達、新たな先生、そして皆さんの入学を心待ちにしていた先輩たち、そして新たな学び、様々な出会いがいきなり訪れます。ぜひ、この出会いを大切にしてください。

中学校生活は、わずか三年間です。そして、この三年間で義務教育は終わります。三年後には、自分の進む道を決めなければなりません。小学校で培ってきた力を土台にして、さらに自分自身を磨き、鍛えるのが中学校です。なりたい自分になるためには、目標を定め、努力を惜しんではなりません。

そこで、私からは、みなさんに四つの言葉を贈ります。

一つ目は、「自律」です。自律とは、自分をコントロールすることです。多くの生徒が集う学校では、自分勝手やわがままを抑え、自分に厳しくあることが大切です。

二つ目は、「自立」です。自立とは、自分の言動や行動に責任を持つことです。なりたい自分になるためには、自分の発する言葉や行いについて、周囲の理解を得られてこそ実現するものです。

三つ目は、「共生」です。共生とは、お互いを尊重し、良さを認め合い、協力し助け合って生きることです。人生は、うまくいくこととうまくいかないことが縄を編むように絡み合って訪れます。やさしさと思いやりを持って困っている人を助けたり、また反対に助けられたりして、共に生きていくことが大切です。

四つ目は、「共創」です。共創とは、協力して新たなものを創り出すことです。学校は、みなさんが主役であり、みなさんが学校の作り手です。今年、大井西中学校は、開校五十周年という大きな節目の年にあたります。これまでの伝統を引き継ぎながら、知恵を出し合い、工夫を凝らし、時代に合わせた新たな学校文化を創造してほしいと願っています。

「自律」「自立」「共生」「共創」は、学校生活だけでなく、皆さんの未来につながるキーワードでもあります。この四つを実践することが、生きる力となるのです。みなさんの成長を期待しています。

ご家族の皆様申し上げます。お子様のご入学、大変おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、今日まで深い愛情でお子様を育ててくれたことに敬意を表します。中学校三年間でお子様はさらに成長しつつも、思春期を迎え様々な悩みに心が揺れ動きます。お子様が壁にぶつかったとき、家族の心の支えがまだまだ必要です。学校は、保護者の皆様と手を携えて、子供たちを育てていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

結びにあたり、PTA会長 様 及び本部役員の皆様、並びに学校運営協議会長 様 及び委員の皆様におかれましては、平素より学校教育への深いご理解と温かなご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後も学校・家庭・地域が連携・協力して子供たち育てていくことをお願い申し上げます、私の式辞といたします。

令和七年四月八日

ふじみ野市立大井西中学校長 榎本 崇